



和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551

和泉市議会ホームページアドレス：<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html> E-mail：gikai@city.izumi.osaka.jp



正副議長消防観閲式（消防本部グラウンド）

平成17年第4回定例会を開催 和泉市立小学校及び 中学校設置条例を一部改正

平成17年第4回定例会が、12月5日から12月16日の12日間の会期で開催されました。

今定例会では、「和泉市火災予防条例の一部を改正する条例制定について」など、議案31件（修正動議1件を含む）、報告1件、諮問1件、意見書4件等が可決等されたほか、第3回定例会で上程され閉会中の継続審査となっていた平成16年度一般会計及び6特別会計決算についても、それぞれ認定されました。また、13人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

平成16年度決算を認定

歳出総額 920億7,134万円

第3回定例会で上程され継続審査となっていた平成16年度和泉市一般会計及び6特別会計決算は、閉会中の11月7日から10日までの4日間にわたり決算審査特別委員会が開催され、慎重な審査が行われました。

12月5日の本会議では、委員長より審査の結果が報告され、反対・賛成討論の後、賛成多数で認定されました。

一般会計決算

●反対討論●

平成16年度決算においても、同和行政の不公平さが正されることなく、NPO法人ダッシュユへの委託料や人権協会への助成金を増大している。

一連の汚職事件関連については、問題を含んだままの予算執行となっている。現在、新市長のもとで市政改革が進められているが、本当に改革をするという決意を示すためにも認定すべきではないと考え、本会計には反対する。

●反対討論●

泉州東部農用地整備事業は横尾川ダム事業予定地と非常に近く、一方は治水を目的とし、他方は山林を畑地に変えるという二律背反する事業である。これからの行政は、箱物（ハード）ではなくソフトで市民に還元していくべきである。また、互助会に関して退会給付金制度は廃止になったが、残りの各種給付については市民の納得できる福利厚生制度とは程遠い。よって本会計に反対する。

●反対討論●

新市長就任後、様々な視点から指摘してきた中で色々な問題が明

●賛成討論●

らかになってきている。12月議会では補助金等の問題も指摘していきたいと思っており、全体を通じて反対する。

本市税や地方交付税が減少する中、人件費の抑制や経常経費の節減に努めるなど、効率的な財政運営に努力され、第三次総合計画の実現に向けて着実に推進されている。公園、道路、公共下水道などの生活基盤の整備を図り、安全なまちづくりを目指し防犯啓発活動も展開されている。

生活環境づくりでは、資源循環型のまちづくりを目指し、ごみの減量化やリサイクルを推進。少子・高齢化社会への対応として子育てに取組むエンゼルハウスへの運営助成や配食サービス事業拡大等、生涯福祉環境づくりを実施し、雇用対策の拡充に努められているほか、生涯学習づくり等、市政全般にわたってソフト、ハード事業両面にわたり積極的に取り組まれている。今後、財政体質の改善、強化を図るとともに市民が真の豊かさを実感できるまちづくりを望む。

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●平成16年度和泉市一般会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市公共下水道事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市市街地再開発事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●平成16年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	決算審査特別委員会	認定 (賛成多数)
●和泉市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	総務文教常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市立小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例制定について	総務文教常任委員会	可決 (全会一致)
●損害賠償の額の決定及び和解について (河川改修工事による事故)	産業建設常任委員会	可決 (賛成多数)
●財産取得について (黒鳥山公園用地)	産業建設常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市立和泉診療所条例の一部を改正する条例制定について	民生企業常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について (修正部分を除く)	総務文教常任委員会	可決 (全会一致)
●議案第104号 和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定についてに対する修正案	総務文教常任委員会	可決 (賛成多数)
●平成17年度和泉市一般会計補正予算 (第7号)	各所管 常任委員会	可決 (賛成多数)
その他、報告1件、議案24件、諮問1件、監査報告9件、意見書4件が可決等されました。		

決算審査特別委員会での質問

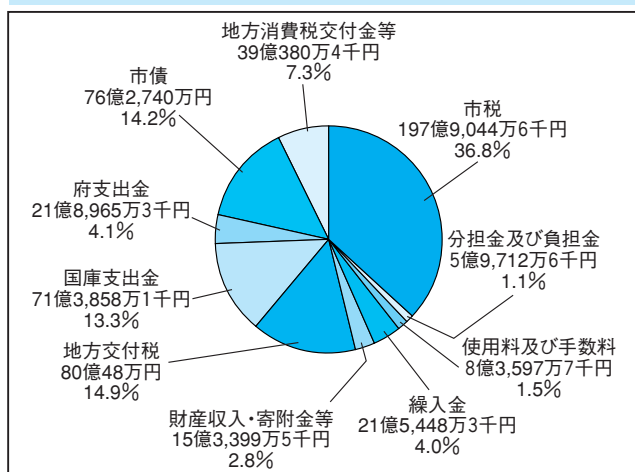
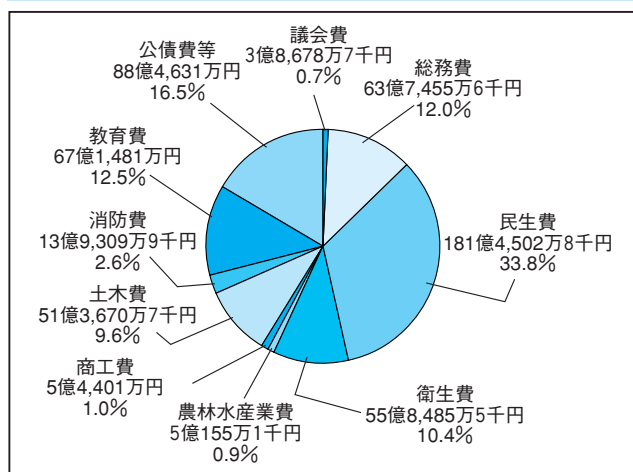
ここでは紙面の都合上、質問項目の一部を掲載しています。

- 男女共同参画条例の取組状況について
- だんじり連絡協議会補助金の内容について
- 国際交流事業の内容について
- NPO法人ダッシューへの委託内容について
- 年金者連盟補助金の今後の動向について
- 市が保有している車両台数について
- 安全なまちづくり推進協議会運営委託料の委託内容と経費の内訳について
- 防犯灯の維持管理について
- 採用試験問題作成の委託先について
- 民生児童委員の男女の内訳について
- ホームレス自立支援事業負担金の事業内容について
- 障害者等給付金の受給資格者数と申請者数について
- 老人集会所の建て替え及び新築等の基準について
- 介護予防筋力向上モデル事業委託料の委託先と事業内容について
- 粗大ごみ電話受付業務委託料の委託先とその体制について
- 狂犬病予防費中の注射済票交付手数料の詳しい内容について
- 軽部池農道整備の事業計画について
- 就職情報フェアの開催内容と実績について
- 松尾山農道維持工事費の内容について
- 緑のツーリズム事業委託料の事業内容について
- 防火水槽の充足率について
- 体育協会の活動状況について
- 各小中学校の図書購入費の基準について
- 青少年の家の目的と利用人数について
- 英語指導助手の雇用形態について
- 海外帰国児童生徒語学指導員事業の内容について
- 三位一体改革の影響額について
- 国民健康保険料の減免と政令軽減の件数及び金額について
- 老人保健の対象者及び一人当たりの医療費について
- 再開発事業の現況並びに今後の事業の進め方について

平成16年度会計別決算状況

区 分	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(C) =(A-B)	翌年度へ繰越すべき財源(D)	実質収支額 (C-D)
一 般 会 計	537億7,194万5千円	536億2,771万3千円	1億4,423万2千円	1,237万1千円	1億3,186万1千円
特別会計					
国民健康保険事業	133億5,971万1千円	133億2,802万5千円	3,168万6千円	0円	3,168万6千円
老人保健事業	111億5,654万4千円	112億1,654万8千円	△6,000万4千円	0円	△6,000万4千円
公共用地先行取得事業	5億9,375万4千円	5億9,375万4千円	0円	0円	0円
公共下水道事業	42億5,636万1千円	42億5,333万9千円	302万2千円	302万2千円	0円
市街地再開発事業	16億6,233万2千円	16億2,907万5千円	3,325万7千円	3,325万7千円	0円
介護保険事業	74億4,267万7千円	74億2,288万6千円	1,979万1千円	0円	1,979万1千円
小 計	384億7,137万9千円	384億4,362万7千円	2,775万2千円	3,627万9千円	△852万7千円
合 計	922億4,332万4千円	920億7,134万円	1億7,198万4千円	4,865万円	1億2,333万4千円

(△はマイナス)

平成16年度一般会計決算の歳入内訳
総額537億7,194万5千円(100%)平成16年度一般会計決算の歳出内訳
総額536億2,771万3千円(100%)

平成16年度水道・病院事業会計決算を認定

第2回定例会で上程され継続審査となっていた平成16年度水道・病院事業会計決算は、閉会中の8月22日に決算審査特別委員会が開催され、慎重な審査が行われました。9月16日の本会議では、委員長より審査の結果が報告され、全会一致で認定されました。

平成16年度企業会計決算状況(消費税を含む)

	事業収益	事業支出	差引額
水道事業会計	41億5,313万7千円	46億4,890万7千円	△4億9,577万円
病院事業会計	75億6,834万3千円	81億9,207万3千円	△6億2,373万円

(△はマイナス)

一般質問



今定例会では13人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。
 (一)では紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

中央線(480号線)
アンダー化事業での車イス対応

【議員】府事業の和泉中央線(四八〇号線)アンダー化事業の関係住民説明会が開かれたが、事業の進捗はどのようなになっているか。また歩行者地下通路は、老人や障害者の車イスでの通行は可能か。
 【理事者】和泉中央線・JR

「割れ窓理論」と
仕事の取り組み方

【議員】公務員の行動・仕事は常に市民の側に立ち『これでいいのか?これで安心できるか?』を考えると気配りをしていかねばならないが、残念ながら今ひとつ気配りがたらないのが実情ではないか。たとえ小さな事象でも一つひとつ解決して行く姿勢が大切ではないか。もし、小さな事柄を見過ごす事が『大きな問題』へと進む要因になっているのではないのか?『割れ窓理論』では、一見無害な秩序違反行為が野放しにされると、それが『誰も秩序維持に関心を払っていない』というサインとなり、犯罪をおこ

しやすい環境をつくりだす、というものである。

犯罪とは一寸違うが、最近市が抱える大きな問題と関連しているのではないか。

【理事者】以前から議員より指摘されている問題点については、改めて公務員としての自覚を持つことが一番大事であると考える。常日頃から、市民サービス、市民福祉の向上にはどうあるべきかという認識をもっておく、それが日々の行動につながっていくと考える。また、このことを職員に指導してまいりたい。

府中駅前再開発事業の
推進について

推進について

【議員】府中駅前再開発事業のこれまでの事業費これから事業費は、又事業を進める上で市長の財政面での判断は。

【理事者】これまでの6年間で約65億円、今後は約116億円必要。財政健全化計画が計画どおりに進めば、財政的には大丈夫と考える。

【議員】再開発事業を進めるならば、本年3月に事業見直しを行った方向で一日も早く終結することが市のリスク回避になると考える。長期化するることによる市のリスクは。

【理事者】一年毎に土地、建物の市税減約4千200万

スロープは自転車用のスロープ付き階段で、車イス使用者の緩やかな勾配のスロープは、現地条件もあり計画に織り込めていないとのことである。

【議員】近くに病院もあり、さらに府に要望して欲しい。また、和泉府中駅が橋上化すれば、一定対応できるので、駅前再開発事業より駅舎改築を先行するよう見直すべきだ。

円、公営企業債利子増約9百90万円、人件費の増、保留床処分リスクの増加、特定建築者参画企業の有無に影響等。

【議員】人件費の概算額を入れると影響額は1年で約1億6千350万円。今年3月の変更後から既に一年間遅れている本事業を、市長公約として再度見直すようだが、長期化するリスクを頭に入れ、公約に固守せず、市民公益の観点で判断されるよう望む。

危機管理について

【議員】危機管理の中の一つである災害・防災における危機管理とは何かを伺いたい。

【理事者】地震などの巨大災害においては、完全な防止は難しく、未然に防ぐ方法はないと言われている。むしろ「災害は必ず発生する」

「被害を最小限にする」といった考え方に沿った対応が重要であり、阪神・淡路大震災においては、隣近所の人に救出された人の割合が8割以上にも達したと言われている。このようなことから、「共助」の考え方に基いた地域社会のコミュニケーションづくりや防災におけるひとづくり、安全・安心のネットワークづくりなどが今後の防災のキーワードになってくるかと思われる。

【議員】このように、特に地域における「共助」の考え方が重要である点から、今後、専門知識を持ったひとの配置ということでは、今注目をされつつある防災士の育成にも力を入れて頂きたい。



五十周年事業について

【議員】 いよいよ本市も来年は市施行五十周年を迎える。五万人からスタートした本市も五十年後にはトリヴェール、和泉中央駅、桃山学院大学、産業団地と二十万人都市をにらみ、この成長を誰が予想出来たであろうか。これも一重に市民皆様の深い御理解と暖かい御協力があったものと思われる。そこで迎えた五十周年記念事業の一つとして市長の公約でもある市民参加事業であるミニ公募債（市民公債）を今回発行できないか、考えはどうか。

【理事者】 国においては、地方債の個人消化及び公募化を通じて資金調達手法の多様化を図るとともに、住民行政への参加意識の高揚を図るという趣旨からミニ公募債の発行を奨励している。現在、市内金融機関に於いて引き受けの意向調査をおこなっており、ハイドルは高いが五十周年という大きな節目の年でもあるので、発行出来る様、銀行サイドと更に協議をして参りたい。

性的マイノリティの問題について

【議員】 自分の性に対して、社会的承認を得にくい状況にいる人たちの思いは深刻である。

二〇〇三年には「性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律」が施行され、戸籍上の性別変更が可能になるなど、社会的問題に関して様々な見直しがされるようになってきた。

そこで、本市が取り扱う証明書、申請書などの性別記載はどのようになっているのか。

【理事者】 法律の施行後、「性別」記載についての配慮が必要になり、平成16年2月に総務課長、男女共同参画課長及び人権国際課長名で「帰化」

機構改革について

【議員】 地方分権が進むなか、多くの自治体で機構改革等が行なわれている。

市民ニーズも早いテンポで刻々と多様化、高度化している。当市の特徴は、他市に比

学校安全管理について

【議員】 栃木、広島で小学校一年生の女児が下校途中に連れ去られ殺害されるという、非常に痛ましい悲惨な事件が相次いでいるが、本市での不審者出没状況や通学路を含むその対策と取り組みについて聞きたい。

【理事者】 登校中6件、下校中25件、下校後1件、内容は露出や声かけ27件、服をつかむなど悪質な5件の事案があり、この数字は前年同期と比較し半数以下となっている。

このことは、学校、地域住民、関係諸機関による見守り活動展開の成果と考えている。本市でも広島や栃木と同様な通学路が存在しているとの認

べ、次長級以上の人数が倍、理事・次長が課長職を兼務している人数も倍である。このようになったのは年功序列中心の人事を行ってきたからではないのか。既存の機構にとらわれることなく時代に即した機構に改めるべきだと考えるが。

【理事者】 職制のあり方、人数については、その組織がうまく、有効に機能し効率的に目的を達成することが重要である。又、一定の知識、経験も必要であり、職務の専門性、特殊性も考慮し人員配置をしているが、今年度末に課長級以上の退職者が多く出るので

今後は、ご指摘の点も検討していく必要があると考えている。

識のうえに立ってこれまで以上に安全確保に向けた取り組みを推進していく必要があると考えている。具体的には、安心と安全を確保できるように、小学生全員に防犯ベルを措置しようと考えている。また、子ども達が通学路を歩いて、その目線で再点検し、安全マップを作成し実際に不審者に遭遇した時に大声を出すための指導や今年度より実施の学校、園の警備員の配置等の安全対策も継続推進していきたい。

【議員】 最小の経費で最大の効果をあげ市民サービスの向上に務めるのが自治体に課せられた大きな使命である。勇気をもって、大胆に推進することを要望する。

一般質問



食育の推進状況について

【議員】食育基本法が制定されて半年が経過しているが、給食の残量を減らす取組状況及び、食材に対するアレルギー対応食についてお示し下さい。

【理事者】月1度、献立作成委

員会を開催し、残量の実態等について意見交換を行い、今後の献立に生かすように努めている。アレルギー対応食については対応可能な範囲で除去食を提供し、重篤なショック症状の出る恐れのある食材は献立から除外している。

【議員】献立を工夫する事も大切であるが、モデル校を選ぶなど具体的な形での検討を行い、その効果を検証してみよう。また除去食に止まらず、疑似食等の取組みも検討していただければと思う。食育の問題は、市の各部署が第三者

システム機能を果たしながら、それぞれの課題を評価・点検し、和泉市が誇れる「食育推進計画」を作りあげて頂けるようお願いする。

食事サービスについて

【議員】介護保険制度が改定されたが、食事サービスの内容は変わるのか。

【理事者】現在、3種類の食事サービスを実施している。社協に委託しているふれあい配食サービスとボランティアによる会食サービスは変わらないが、食の自立による配食サービスは法改正により、新しく組み入れられた地域支援事業に該当することとなる。

【議員】それでは、食の自立の配食サービスはどうなる。

【理事者】現在、5カ所の在宅介護支援センター地域で実施しているが、4月には市内全域で実施できるよう調整中である。昨年10月、食材料費及び調理費相当額を利用者負担とすることになり、国の補助単価が1食650円から310円に大幅に改正された。これにより、利用者負担等について見直しを検討している。

【議員】食の細かい高齢者に対

して保健士は、配食サービスをすすめる指導を行うと聞くが、できるだけ利用者負担増にならないようにすべきだ。

高齢者施設職員にも

検便検査の実施を

【議員】11月23日に高槻市児童福祉施設で0・157感染による3才男児の死亡事故があった。毎年3千〜4千人の感染例があり、毒性が強く10〜100個でも感染する。和泉市の保育園や高齢者施設での検便検査はどうなっているか。

【理事者】市内各保育園では給食従事の職員は月2回、他の職員は月1回の検便検査を実施している。市内各高齢者施設では給食従事者に月1回、6月〜8月は月2回の検便検査を実施している。

【議員】保育園では厚労省のマニュアル以外に職員にも検便検査を市独自で行っている。これを市内の高齢者施設でも実施すべきではないか。

【理事者】施設の責任で衛生管理を行うべきだと考えるが、今後は高齢者施設の職員にも検便検査の実施を呼びかけていきたいと考えている。

【議員】抵抗力のない高齢者に食事・入浴・排泄の介助を職員がする施設なので、ぜひ市が主体的に、施設に対し指導していくよう強く要望する。

「選挙管理委員会委員」にかかると法抵触の疑義と市長の関わり

【議員】当該委員は私立の保育園や特養施設の実質責任者であると認識した上で聞くが6月に行われた市長選挙の前に当該施設内にポスターやマニフェストが掲示されていたと内部告発があった。

認識しているか。又収入役とも親密な関係であるが飲食、旅行、ゴルフ等の接待はなかったか。

【理事者】「接待は受けていない」ポスター、マニフェストの掲示の確認はしていない。収入役「すべてにおいて接待はない」

【議員】150%二人合わせて300%信用しない。献金問題についてはマスコミに報道されたことから当局に委ねるが17年度については利害関係者になることから返金すべきだ。

【議員】「障害者施設運営補助金拠出」にかかる疑義についてはマスコミに報道されたので質疑の掲載は省略する。

JR北信太駅前周辺整備について

【議員】北信太駅前、駅前線の事業化についての一年前の答弁では、第四次総合計画への位置づけを行い、駅周辺の土地利用を勘案しながら、具体的な整備時期を慎重に見極めていくとあったが、新しい市長にこの問題の考え方をお聞きしたい。次に葛の葉東区画整理事業が完成し、二期目も事業化に向っていると聞くと、それに伴う人口増と従来から道路事情が悪く、南一番踏切りが尚一層危険であるので、駅西改札口設置を要望してきたが、駅の地下通路を二分する方法は考えられないか、「市長答弁」【理事者】議員の北信太駅前に対する取り組み状況は、充分認識するが本市の取組んでいる財政健全化、国の三位一体改革の動向などを勘案し、今進めている大型事業の目処がたった時点で、財政状況を見極めた上での最重要課題であると認識している。西口改札については、議員の知恵と工夫による提言をいただいたので早速現地調査を行う。JRと市との間の合意点が見つかる方策がないのか、協議を進めたい。



その他の質問項目

- 子どもの安全対策について
- テクノステージ企業の公害問題について
- 市民グラウンドの改修整備について
- JR阪和線3駅の周辺整備について
 - ・JR府中駅前
 - ・JR信太山駅前
- 発達障害者支援法と特別支援教育について
 - ・乳幼児から就労問題まで
- 光明池を巡る問題について
- 広報誌について
- 子育て支援について
- Sゾーンについて
- 児童の登下校対策と動物の飼育について
- 北部コミュニティセンター運営について
 - ・市営葬儀のあり方
- 防災と都市基盤整備について
- 学校給食について
- 市民からの質問・要望について
 - ・福祉会館の事業について
- 来年度予算編成について
- アスベスト健康被害対策について
- はしか・風しん混合ワクチン予防接種事業について
- 行政評価システムの活用と今後の取り組みについて
- お墓について
- 介護保険について
- 業務改善と組織改革
 - ・窓口業務
 - ・業務の分担化
 - ・その他



意見書

今定例会では次の意見書4件を可決し、内閣総理大臣や関係する各大臣に送付しました。

- ◆個人所得課税における各種控除の縮小を行わないことを求める意見書
- ◆議会制度改革の早期実現に関する意見書
- ◆「真の地方分権改革の確実な実現」に関する意見書
- ◆「事業仕分け」による行財政の効率化を求める意見書



常任委員会審査報告

民生企業委員会

本委員会は12月6日に開催され、公の施設の指定管理者の指定について（和泉市リサイクルプラザ）など、議案8件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。その内容については、12月16日の本会議において委員長から報告が行われました。

産業建設委員会

本委員会は12月7日に開催され、損害賠償の額の決定及び和解について（河川改修工事による事故）など、議案9件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。その内容については、12月16日の本会議において委員長から報告が行われました。

総務文教委員会

本委員会は12月8日に開催され、付託された損害賠償の額の決定及び和解について（消火作業中事故）についてなど、議案16件を審査の結果、いずれも原案どおり可決しました。その内容については、12月16日の本会議において委員長から報告が行われました。



1 ＊視察にこられました

平成17年中に下記の市町議会が本市を視察されました。

<市町名及び視察事項>

◇長崎県佐世保市

いずみ霊園の施設概要及び現地視察について

◇愛媛県西条市

駅前周辺再整備の概要について
和泉シティプラザについて

◇千葉県八千代市

和泉シティプラザの概要と施設視察について

◇新潟県柏崎市

就労支援事業の概要について

◇東京都立川市

ICPCについて
リサイクルプラザ・彩生館について

◇埼玉県新座市

地域福祉計画の策定について

◇大阪府阪南市

合併浄化槽について
駅前駐車場の有料化について

◇神奈川県高座郡寒川町

リサイクルプラザ・彩生館について

◇東京都清瀬市

和泉シティプラザの施設見学と概要について

2 ＊研修会に参加しました

大阪府市議会議長会主催による第45回大阪府市議会議長会議員研修会が開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

日時：11月18日

場所：ホテル阪急エキスポパーク
(吹田市・千里万博公園)

講演：「阪神・淡路大震災に学ぶ」

講師：貝原俊民氏(財団法人阪神・淡路大震災記念協会理事長)



傍聴してみませんか

場所：議場 本館3階(入口は本館2階資産税課横)

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

(車いすスペース
3台分)

：委員会室 7席



市議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで簡単にできます。

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

＊第1回＊ 定例会の予定

平成18年第1回定例会は、次の日程で開催される予定です。議事の都合により日程が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話：0725・41・1551(内線1723)

日 程	会 議	場 所	開 会 時 間
2月22日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
3月1日(水)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
3月2日(木)	民生企業委員会	委員会室	午前10時
3月3日(金)	産業建設委員会	委員会室	午前10時
3月6日(月)	総務文教委員会	委員会室	午前10時
3月9日(木) ～16日(木) (土・日は除く)	予算審査特別委員会	議 場	午前10時
3月17日(金)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
3月23日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月24日(金)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月27日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

傍聴者数のお知らせ

平成17年第4回定例会の本会議傍聴者数

12月5日(0人) 14日(35人) 15日(43人)

16日(5人) 合計83人